

東京都冬季水泳競技会 追加要項

期 日	事 項	開門時間 (コーチ・スタッフ)	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
2月11日(土)	1日目	7:15	9:00	12:45	13:00	16:55	競技終了後30分
2月12日(日)	2日目	7:15	9:00	13:06	13:30	18:10	競技終了後30分

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度（公財）日本水泳連盟水泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。なお、予選は年齢区分に関係なく予選を行うため、各年齢区分8名に満たない場合でも予選を行う。
- (3) 決勝は、予選の結果上位8名が出場となり、決勝進出した選手から棄権者が出た場合、次点上位より順次出場権を与える。また、決勝進出において、同記録で定員を超えた場合、抽選で優先順位を決定する。抽選は、予選競技後15分以内にリゾリユーションデスクにて行う。なお、該当選手については、通告にてアナウンスをする。その後15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合は、抽選の権利を失う。
また、B決勝は決勝進出者を除く予選上位8名を対象とする。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者がでても次点上位の順次出場権は与えないとする。
- (4) 予選を棄権する場合の棄権届は、棄権用紙に必要事項を記入の上、リゾリユーションデスクに届けること。
- (5) 決勝およびB決勝の棄権はできない。やむなく棄権を希望する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリユーションデスクに1種目につき3,000円の棄権料を添えて棄権届出用紙を提出すること。審判長が許可した場合に限り届出を受理する。
- (6) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水すること。背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。
- (7) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用したい場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (8) 800m・1500m自由形における周回板通知は、折り返し側に周回板を掲示し、コールは行わない。
- (9) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (10) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし、治療目的の場合は審判長の許可を得ること。

2. 招集について

- (1) 招集は、通告等にて集合を指示する。指示の前に招集所への移動は控えること。
- (2) 招集所では、マスクを着用し十分な対人距離を保つこと。
- (3) 招集は、本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。それと合わせ水着の確認を行う。
- (4) 招集所の位置および順路は、別紙「会場図」を参照すること。

3. 表彰について

- (1) 本大会において種目別順位表彰は行わない。
- (2) 世界新記録、日本新記録、東京都新記録（いずれもタイ記録含む）を樹立した場合は、新記録証の授与式を行う。

4. 登録団体用健康確認票（兼誓約書）について

- (1) 登録団体用健康確認票兼誓約書（様式 T-04）は、各団体にてホームページよりダウンロードして持参すること。（※選手およびチームスタッフ個別の健康管理表は不要）
- (2) 団体責任者は所属選手全員の健康状態を確認し、『登録団体用健康確認票兼誓約書』を9時までに入場受付に提出すること。**※ 1 団体 1 枚/毎日**
- (3) 登録団体用健康確認票兼誓約書の提出が確認できない団体の出場は認めない。

5. AD カードについて

- (1) AD カードは各団体にてホームページよりダウンロードし、団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフには配布すること。（A4サイズでプリントし4分割する。モノクロでも可）
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフADは1団体1枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計5枚を上限とする。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止とする。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携行すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。（折らずに収納できるサイズを使用すること）
- (8) 大会期間中の体温と体調を必ず記入すること。
- (9) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に提出すること。大会終了後にADカード提出を確認できない選手の記録は抹消する。
- (10) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。

6. 入退場について

- (1) 大会両日とも、7時15分に開場しチームスタッフ（各団体1名）、選手の順で入場する。
（注意）必要以上に早く来場しないこと。入場を待つ間はマスクを着用し、密集しないよう対人距離を保つこと。
- (2) 入退場は、歩道橋直結白ゲートとする。（別紙「会場図」を参照）
- (3) 入場の手順は以下のとおりとする。
 - ①ADカードチェック
 - ②検温
 - ・検温カメラで自動計測する。係の指示に従い1列でカメラの前を通過すること。
 - ・37.5℃以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。
- (4) 入場手順のいずれかに問題がある場合は、救護担当者の判断により入場を許可しない場合がある。
- (5) 出場最終日の退場時、ADカードを退場口の受付に提出すること。
- (6) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

7. 控え場所について（別紙「会場図」を参照）

- (1) 控え場所は観覧席のみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。
- (3) 観覧1階最前列は危険防止のため使用不可とする。
- (4) 観覧席は対人距離を確保して利用すること。
- (5) メインプール側更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。
- (6) サブプール側更衣室は使用できない。

8. プールの使用について ※状況によって変更する場合がありますので、当時は係員の指示に従うこと。

(1) メインプール

- ① 水深2m、水温28.0度に設定までとする。
- ② ウォーミングアップは、A面は競技開始20分前まで、B面は30分前までとする。
- ③ ウォーミングアップ時、A面7・8レーンをダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。利用人数によりレーンを増やす場合がある。
- ④ パドル・コード類の使用は禁止する。
- ⑤ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑥ 練習中はホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(2) サブプール

- ① 水深1.2m~1.4m、水深28.5度とする。
- ② 2~4レーンを女子専用、5~7レーンを男子専用とし、1レーンをダッシュレーンとする。
- ③ パドル・コードの使用は禁止する。
- ④ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(3) ダイビングプール

- ① 水深5m、水温28.0度に設定する。
- ② レース直後のダウンプールとして使用に限る。
- ③ メインプール側が男子専用、高飛び込み台側を女子専用とする。
- ④ 飛込競技用設備には触れないこと。また、突起物には十分注意すること。

9. 監督者会議について

監督者会議は行わない。

10. 感染症拡大予防について

- (1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- (2) ガイドラインに従わない場合、係の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染予防に努めること。

11. 競技結果（速報）について

- (1) 会場で競技結果の張り出しは行わない。
- (2) 競技結果はプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

12. 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を順守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。
- (2) 新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会への参加辞退要請があった場合はそれに従うこと。
- (3) 大会後7日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
- (4) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (5) 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。
- (6) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消となった場合でも申込金は返金しない。
- (7) 公益財団法人日本水泳連盟および公営財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

13. その他

- (1) 熱中症に注意すること。
 - ① こまめな水分補給を心掛けること。
 - ② ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。
- (3) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
- (4) 忘れ物は、退場専用口(第1ゲート付近)にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (5) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (6) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (7) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (8) 会場内外での所属ミーティングは禁止する。
- (9) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。
- (10) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。

14. 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 競技委員会

E-mail : kyougi@tokyo-swim.org